

☆☆☆ 朝 礼 講 話 ☆☆☆

4月20日（月）

『晴耕雨読』

講話 教頭



今日は、二つのお話をしたいと思います。

一つ目は、『晴耕雨読』という言葉についてです。この言葉は、「晴れた日には外で畑を耕し、雨の降っている日は、室内で読書をする」という意味だと思いますが、実は、「いつでも次のステップに移れるように準備すること」を言う意味もあるのだという話を聞きました。

三国志に出てくる孔明も、劉備に迎えられまではこの”晴耕雨読”を営んでいたようですが、やはり、これから大きなことをやり遂げるためには知識も必要になる、また、体力も相当必要になると考えたのでしょう。孔明は晴れた日には、体を動かして健康な状態を保つと共に食の確保も考えて農耕を行うことで一石二鳥を狙い、雨の日に外で無理をすると体調を崩してやりたいことが出来る時期を逸してしまうことを恐れて悪天候の日には家の中で読書をし、知識の量を増やすことに励んでいたのではないのでしょうか。これらのことから、「いついかなるときも、ただ待つのではなくいろいろと考えて準備を怠らないように」との教えかもしれませんね。

最近雨が多く、外で遊ばなくて残念ですね。でも、雨の日こそ、室内で読書をし、知識の量を増やしてください。本は心の栄養です。東部小学校のメルヘンルームや図書室には、面白い本がたくさんあります。学級文庫にもたくさんの本があります。ぜひ、休み時間に本を手にとって読んでみてください。



二つ目は「あ・い・さ・つ」についてです。先週、校長先生から、「あいさつの達人」になるための秘訣を教えてくださいましたね。覚えていますか？先日「十四山東部小学校の子どもたちのあいさつは、とてもすてきでいいですね」と学校にみえた方からほめていただきました。そこで、今日は、「あ・い・さ・つ」の合言葉を伝えたいと思います。

「あ」… あいさつは、

「い」… いつでも

「さ」… さきに自分から　そして

「つ」… つづける

この「あ・い・さ・つ」の合言葉を忘れないで、これからもすてきなあいさつを続けてくださいね。



避難訓練

16日（木）に、第1回避難訓練を行いました。

今回は、昨年度途中に設置してもらった「緊急地震速報の装置」を使っでの訓練となりました。緊急地震速報で「地震が来ます」という放送が流れると、すぐに子どもたちは机の下にもぐり込むことができました。





その後、静かにすばやく運動場へ移動し、整列することができました。

人員確認が終わってから、次は津波に備えて十四山支所へ移動しました。ここでも、2列にきちんと並んで安全に移動することができました。

毎年避難訓練を積み重ねてきたので、全員が当然のこととして静かに、素早く行動することができるようになってきました。これなら、東日本大震災で有名になった『釜石の奇跡』と同じように一人の犠牲者も出すことなく避難することができます。

しかし、地震はどこにいるときに発生するか分かりません。家でも同様に安全に避難することができるよう、話し合っておいてください。

